

平成 20 年度

事業報告書

自 平成 20 年 4 月 1 日
至 平成 21 年 3 月 31 日

社団法人 日本オーディオ協会

平成 20 年度事業報告書

(平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで)

社団法人 日本オーディオ協会は、オーディオ及びオーディオ・ビジュアルシステム(以下オーディオ等)における文化の発展と産業の振興をはかるために、平成 20 年度においては、プロの匠とマニアのこだわり、そしてビギナーの憧れの融合、携帯オーディオとホームオーディオの融合、2ch オーディオとサラウンド・サウンドの融合、デジタル技術とアナログ技術の融合の「四つの融合」を活動の柱として、サラウンド・サウンド再生、モバイル配信コンテンツのホームオーディオ再生、デジタルポータブルレコーダーによるライブ録音など、新しいオーディオ等の文化と市場を創造する普及・啓発活動を行いました。

また、社会情勢の変貌に対処して日本オーディオ協会の抜本的な刷新をはかるために、新たな協会ビジョンやビジョン遂行の活動指針、協会活動の目標と会員の役割など、次年度以降の協会活動と運営の指針の取りまとめを行いました。

平成 20 年度に実施した主たる事業は、定款第 4 条各号に沿った以下の通りであります。

(第 1 号) オーディオ等に関するソフト、ハード、視聴環境の調査及び研究

サラウンド・サウンドワーキンググループにおいて、「サラウンドの日」や A&V フェスタにおける普及・啓発活動のための調査・研究を進め、また、第 2 回目のサラウンドに関する一般者の認知度と嗜好の調査を行い普及活動に役立てました。

デジタルポータブルレコーダーによるライブ録音の普及・啓発をはかる目的で生録普及委員会を組織し、モバイル配信コンテンツのホームオーディオ再生の普及・啓発をはかる目的でモバイルオーディオ連絡会を設け、それぞれの調査・研究に着手しました。

(第 2 号) オーディオ等に関する普及および啓発

(社)電子情報技術産業協会と協調し 5 月 1 日を「サラウンドの日」に制定し、制定記念大会ならびに全国各地でのサラウンドの日体感視聴会を開催しました。「音の日」には「音の匠」を顕彰し、体感音響システムによる「身体で聴こう音楽会」を開催しました。恒例の「音の日視聴体験キャンペーン」も各地で開催しました。「A&V フェスタ 2009」では協会主催のサラウンドサウンド・テーマエリア、モバイル&ブロードバンドコーナー、生録体験!! ライブレコーディングを実施しました。また、青少年向けの啓発活動を広島市、横浜市、小金井市において開催しました。

(第 3 号) オーディオ等に関する基準の作成

オーディオエンジニア及び一般カスタマーに向け、再生音の評価や測定に役立つ CD、DVD 等の頒布を行いました。

(第 4 号) オーディオ等に関する情報の収集及び提供

メール配信の会報 JAS ジャーナル特集号 4 冊、通常号 4 冊を発行しました。JAS ホームページは年間約 23 万ページビュー、サラウンド Web は年間 60 万ページビューの利用がありました。また緊急金融危機対策として経済産業省と連携し会員各社の雇用安定化の為に活動を行ないました。

(第 5 号) オーディオ等に関する展示会開催

「A&V フェスタ 2009」を平成 21 年 2 月 21 日～23 日にパシフィコ横浜カンファレンスセンターにて開催し、多くのユーザーにオーディオ等の最新情報と視聴体験機会を提供しました。また、音楽を愛する方々により音を聴いていただく地域展開のイベントとして軽井沢八月祭に協賛し、平成 20 年 8 月 16～24 日に軽井沢オーディオサロンを開催しました。

(第 6 号) オーディオ等に関する人材の育成

販売従事者、インストラクター、ユーザー等に役立つデジタルホームシアター構築のガイドライン作成と人材の育成についての検討に着手しました。

(第 7 号) オーディオ等に関する内外関係機関等との交流及び協力

第 15 回日本プロ音楽録音賞を関連団体と共催し、「音の日」に 4 部門 11 作品の制作技術者およびベストパフォーマーを表彰しました。「A&V フェスタ 2009」においては、オーディオソフトの制作技術向上

を目的とするプロフェッショナルオーディオ協議会の協力により生録イベントを開催しました。

平成 20 年度事業概要

1. オーディオ等に関する、ソフト、ハード、視聴環境の調査及び研究（定款第4条第1号）

(1) サラウンド・サウンドワーキンググループ（渡邊哲純 主査 ほか 15 名）

ワーキンググループ開催経緯（14 回開催）

4月3日、5月15日、6月12日、7月1日、7月18日、8月21日、9月10日、9月25日、
10月16日、11月11日、12月5日、1月13日、2月10日、3月12日

主要活動内容

- * 4月23日：サラウンドの日制定記念大会の開催及びサラウンドシンボルマーク制定の発表。
- * 9～12月：サラウンドについての一般者の認知度と嗜好の第2回アンケート調査と結果のまとめ。
- * 2月21～23日：A&V フェスタ 2009 におけるサラウンドサウンド・テーマエリアの企画と運営。
以上、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)サラウンド・サウンド専門委員会との関係を密に活動を
進めた。

(2) 視聴イベントワーキンググループ（10 名）

ワーキンググループ開催経緯（1 回開催）

9月5日、その前後はアンケート調査及びメール会議の開催

主要活動内容

「音の日」視聴体験キャンペーンの実施要項および広報の策定を行った。

(3) 生録普及委員会（岩出和美 委員長 ほか 18 名）

委員会開催経緯（6 回開催）(2 回目より生録会開催準備ワーキンググループを兼ねる)

11月7日、11月27日、12月9日、1月28日、2月10日、3月17日

主要活動内容

プロフェッショナルオーディオ協議会(PAS)の参画のもと A&V フェスタ 2009 における「生録
体験!! ライブレコーディング」の企画検討を進めた。

(4) モバイルオーディオ連絡会（岸原孝昌 主査 ほか 12 名）

連絡会開催経緯（4 回開催）(3 回目よりモバイルオーディオ推進協議会設立準備会を兼ねる)

12月24日、1月9日、3月16日、3月26日

主要活動内容

- * A&V フェスタ 2009 におけるモバイル&ブロードバンドコーナー設営について準備を進めた。
- * モバイル・コンテンツ・フォーラム、モバイルコンピューティング推進コンソーシアムと共に、配
信音楽コンテンツの良質な利用を推進する協議会設立準備に参画した。

2. オーディオ等に関する普及及び啓発（定款第4条第2号）

(1) 「サラウンドの日」関連行事（サラウンド・サウンドWG 渡邊哲純 主査 ほか 15 名）

4月23日、東京・永田町の市町村会館において「サラウンドの日」制定記念大会を来賓、業界関係
団体、取材関係者など約 200 名出席のもとで電子情報技術産業協会と共催し、公募作品より選定し
た鈴木知美氏制作のサラウンド・サウンド・シンボルマークを発表し、サラウンド関連の動向報告を
行った。

* サラウンドに関する一般者のアンケート調査結果 (JAS サラウンド・サウンドWG 渡邊哲純主査)

* サラウンド再生機器の現状と展望 (JEITA サラウンド・サウンド専門委員会 蔭山恵委員長)

* NHK におけるサラウンド番組制作について (日本放送協会放送技術局 深田晃チーフエンジニア)

* サラウンド作品紹介「THE 世界遺産」(株)TBS ビジョン) 河野英輔氏、土方裕雄氏

4月24日～5月31日に JEITA との共催で会員各社の協力を得て『サラウンドの日』体感視聴会
を全国 31ヶ所、延べ 115 回 開催した。

5月3日～6日に NHK 放送センターで開催された「渋谷 DE どーも '08」会場内に JEITA と協
力して「5.1 サラウンドシアター」を設営し約 8,500 名が来場した。

(2)「音の日」記念行事(「音の日」実行委員会 森 芳久 委員長 ほか9名)

「音の日」実行委員会開催経緯

9月24日、10月22日、その後はメール会議の開催

主要活動内容

第13回「音の匠」の選定および顕彰式の企画ならびに「音の日」行事の監修を行った。

第13回「音の匠」顕彰式

12月4日(木)16:45~17:15 虎ノ門パストラル本館「葵の間」(参加者)65名

「音の匠」として我々の日常生活を支えるナレーター中村啓子氏を、「音の匠特別賞」として身体で聴こう音楽会活動の山下桜氏を顕彰した。電波新聞社平山哲雄社長より受賞者に記念品が贈呈された。

「身体で聴こう音楽会」

12月4日(木)14:30~16:30 虎ノ門パストラル本館「葵の間」(参加者)100名

聴覚に障害がある人達に音楽を楽しんでいただくボランティア活動例を紹介し、体感音響システムを配置して室内楽を鑑賞する「身体で聴こう音楽会」をパイオニア(株)の協力で開催した。

*トークセッション「音 それは人を繋ぐ絆」

国土 潤一氏(音楽評論家、指揮者)、山下 桜氏(パイオニア(株)身体で聴こう音楽会 事務局長)、横田 堯氏((財)音楽鑑賞教育振興会 事務局長)

*身体で聴こう音楽会 弦楽四重奏(景山誠治氏(vn)、景山裕子氏(vn)、大野かおる氏(va)、苅田雅治氏(vc))ドヴォルザークの弦楽四重奏曲第12番へ長調 作品96, B.179 『アメリカ』など。

「音の日のつどい」パーティ

12月4日(木)18:00~19:30 虎ノ門パストラル本館「葵の間」(参加者)140名

音の匠、日本プロ音楽録音賞受賞者を祝し、交流パーティを日本レコード協会・日本音楽スタジオ協会・日本ミキサー協会・演奏家権利処合同機構ミュージックピープルズネストの共催で実施した。

(3)「音の日」視聴体験キャンペーン

視聴イベントWGの企画にもとづき、12月6日「音の日」を中心にした前後の期間(11月初旬~12月末)に、14社の協賛を得て各地のショールームを中心に視聴体験キャンペーン”を実施した。

(4)A&V フェスタ2009における協会主催イベント

サラウンドサウンド・テーマエリア(来場者約1,000名)

*2月21日 女性向の為のサラウンド教室(パイオニア(株))

有識者による「サラウンドの魅力語る」パネルディスカッション(司会:沢口真生氏)
(パネラー:亀川徹氏・濱崎公男氏・井上哲氏・麻倉怜士氏・蔭山恵氏・渡邊哲純氏)
放送各社の製作者による「サラウンド番組の面白さ」(NHK・BSフジ・日本テレビ)
JAZZクラブがあなたの部屋にやってくる(沢口真生氏)

*2月22日 お父さんの為のサラウンド教室(ヤマハ(株))

パッケージソフトでの「サラウンドによる音楽の楽しみ」(高田英男氏)
放送各社の製作者による「サラウンド番組の面白さ」(テレビ朝日・WOWOW)
JAZZクラブがあなたの部屋にやってくる(沢口真生氏)

*2月23日 放送各社の製作者による「サラウンド番組の面白さ」(毎日放送・長野朝日放送)

JAZZクラブがあなたの部屋にやってくる(沢口真生氏)

生録体験!! ライブレコーディング

2月21日(土)にアフリカン・パーカッション、22日(日)にSAXOPHOBIAのポータブル デジタル レコーダーによる生録会が協賛メーカーの協力のもとPASとの共催で行われ、録音参加者150名、一般席参加者599名が参加した。

(5)青少年向け普及活動

子供のころから音に親しみオーディオに関心を持ってもらう目的で、主催団体と連携した普及活動を実施した。

発明の日記念「音とスピーカーの実験」

平成20年4月20日(日) 広島市・広島府中ソレイユ 70名参加

主催：特許庁・中国経済産業局 協力：パイオニア(株)
「手作り CD プレーヤー工作教室」
平成 20 年 6 月 7 日(土) 神奈川県・横浜市磯子「はまぎん こども宇宙科学館」40 名参加
協力：ソニーイーエムシーエス(株)浜松テック
科学の祭典「音とスピーカーの実験教室」
平成 20 年 9 月 15 日(祝) 東京学芸大学 小金井キャンパス 90 名参加
主催：「青少年のための科学の祭典」小金井大会 実行委員会
協力：パイオニア(株)

3. オーディオ等に関する基準の作成(定款第4条第3号)

オーディオエンジニア及び一般ユーザーに向け、再生音の評価や測定に役立つ CD、DVD-Video、DVD-Audio 等の頒布を行った。

平成 20 年度頒布数合計：460

主な内訳

CD-1 Audio Test 301 枚・DVD-V1 Audio Check(DVD) 55 枚・MLAS-1001~2 6 枚・
MLZJ2001~2002 7 枚・DAT(2種類)1巻・COGQ-28 12 枚・AES 001~003 77 組・
UNACD-07-01 1 枚

4. オーディオ等に関する情報の収集及び提供(定款第4条第4号)

(1) 会誌の発行とホームページによる情報提供(編集委員会 藤本正熙 委員長 ほか9名)

会誌「JAS ジャーナル」を平成 20 年 4 月 1 日、7 月 1 日、10 月 1 日、平成 21 年 1 月 1 日配信の特集号 4 冊、平成 20 年 6 月 1 日、9 月 1 日、12 月 1 日、平成 21 年 3 月 1 日配信の通常号 4 冊、合計 8 冊を刊行した。

編集委員会開催経緯

7 月 2 日、9 月 17 日、12 月 11 日、3 月 6 日に開催

JAS ジャーナル特集号のテーマ

平成 20 年 4 月号「A&V フェスタ 2008 から」	関連記事 6 件
平成 20 年 7 月号「オーディオの活性化」	関連記事 5 件
平成 20 年 10 月号「軽井沢トークサロン」	関連記事 6 件
平成 21 年 1 月号「高音質ディスク」	関連記事 7 件

(2) 協会ホームページの運用(<http://www.jas-audio.or.jp/>)

JAS ジャーナル 8 冊の記事(全 220 頁)と 98 件のイベント紹介等のトピックスニュースを掲載し、年間約 23 万ページビューの利用があった。

(3) サラウンドホームページの運用(<http://surround.jp/>)

(社)電子情報技術産業協会(JEITA)サラウンド・サウンド専門委員会との連携を密に運用し、年間約 60 万ページビューの利用があった。サーバー負荷軽減のため 5 月にサラウンド Web を独立ドメイン化した。

(4) 雇用安定化と緊急金融危機対策について

経済産業省と関係を密に取り、会員各社に対し経済産業省からの要請をタイムリーに提供することで会員各社の経営安定化の為に活動を行なった。平成 20 年 12 月 15 日、平成 21 年 2 月 18 日。

5. オーディオ等に関する展示会の開催(定款第4条第5号)

(1) A&V フェスタ 2009 の開催

(A&V フェスタ 2009 実行委員会 西 國晴 委員長 ほか 委員 11 名)

平成 20 年 2 月 21 日~23 日にパシフィコ横浜カンファレンスセンターにて展示会「A&V フェスタ 2009」を実施した。今回も展示場と合わせて多くの視聴室を設け、最先端のオーディオ・ビジュアル機器に触れ、視聴できる会場構成とした。新しい文化と市場の創造を目指して協会主催イベント

としてサラウンドサウンド・テーマエリア、モバイル&ブロードバンドコーナー、生録体験!! ライブレコーディングを実施した。「工作教室」、「自作オーディオ自慢大会」、専門各誌協力によるセミナーを実施し普及・啓発の充実をはかった。

A&V フェスタ 2009 出展社および来場者

出展 59 社・団体、来場者 26,858 名

A&V フェスタ 2009 実行委員会開催経緯

平成 20 年 5 月 23 日、平成 20 年 6 月 24 日、平成 20 年 8 月 5 日、平成 20 年 10 月 27 日、

平成 20 年 12 月 24 日、平成 21 年 3 月 19 日

この他、実行委員会傘下の企画財務委員会（倉持誠一 委員長）を 2 回開催

出展社募集説明会

平成 20 年 9 月 2 日 経団連会館 約 50 名出席

「A&V フェスタ 2008」記者発表会

平成 20 年 11 月 21 日 東京国際フォーラム 報道関係者 33 名出席

展示装飾説明会

平成 20 年 12 月 16 日 パシフィコ横浜

A&V フェスタ 2009 ホームページ (<http://www.avfesta.com/>) を平成 20 年 11 月 21 日に開設

(2) 軽井沢オーディオサロンの開催

「軽井沢八月祭」に協賛し、「軽井沢オーディオサロン」を 8 月 16～24 日に万平ホテル、ザ・ハッピーヴァレイにて、展示 7 社とソフト業界講師 6 名の協力で開催した。

6. オーディオ等に関する人材の育成（定款第 4 条第 6 号）

販売従事者、インストーラー、ユーザー等に役立つデジタルホームシアター構築のガイドライン作成と人材の育成についての検討に着手した。

7. オーディオ等に関する内外関係機関等との交流及び協力（定款第 4 条第 7 号）

(1) 日本プロ音楽録音賞の共催

第 15 回日本プロ音楽録音賞を（社）日本音楽スタジオ協会・（社）日本レコード協会・日本ミキサー協会・演奏家権利処理合同機構ミュージックピープルズネストとの共催で実施した。72 作品の応募があり、審査で選ばれた最優秀 4 作品と優秀 7 作品の合計 11 作品の録音エンジニアとベストパフォーマンスを 12 月 4 日 虎ノ門パストラル新館ミントの間にて表彰した。

「第 15 回日本プロ音楽録音賞」受賞作品一覧

○部門A 「2ch パッケージメディア」クラシック、ジャズ等 応募総数 27 作品

- 最優秀賞「PLEIADES」より「FRAME FOR THE BLUES」 Eric Miyashiro

(株)ヴィレッジミュージック(VRCL-3048)

篠筈 孝(Main Engineer) (株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ

鈴木 浩二 (Mastering Engineer) (株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ

奥田 裕亮(Assistant Engineer) (株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ

阿部 博(Assistant Engineer) (株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ

- 優秀賞「Meu Romance」より「THE BOY FROM IPANEMA」 阿川 泰子

ビクターエンタテインメント(株) (VICP-64182)

高田 英男(Main Engineer) ビクターエンタテインメント(株)

川崎 洋(Mastering Engineer) FLAIR MASTERING WORKS

松岡 健(Second Engineer) ビクターエンタテインメント(株)

大久保孝洋(Assistant Engineer) ビクターエンタテインメント(株)

- 優秀賞「Castle in the Air」より「Ancient Flower In The Night ~いにしえの夜咲く花」

Castle in the Air[谷川 公子+渡辺香津美] 株式会社ポリスター (PSCR-6180)

- 鈴木 浩二(Main、Mastering Engineer) (株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ
 波多腰 英靖(Assistant Engineer) (株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ
- 部門B 「2ch パッケージメディア」ポップス、歌謡曲等 応募総数 27 作品
- 最優秀賞「浅森坂」より「月が誘った」 浅森坂
 AMUSE SOFT ENTERTAINMENT INC. (ASCM-6013)
 山内 隆義(Main Engineer) (株)サウンドインスタジオ・ミキサーズグループ
 小泉 由香(Mastering Engineer) (有)オレンジ
 奈良 美幸(Recording Assistant Engineer) (株)サウンドインスタジオ
 - 優秀賞「服部良一～生誕 100 周年記念トリビュート・アルバム～」より「銀座カンカン娘」
 ゴズペラーズ ユニバーサルミュージック株式会社 (UPCI-1071)
 三浦 瑞生(Main Engineer) (株)ミキサーズラボ
 菊地 功(Mastering Engineer) (株)ミキサーズラボ
 中野 健太郎(Assistant Engineer) (株)ミキサーズラボ
 上甲 ひとみ(Assistant Engineer) (株)ミキサーズラボ
 - 優秀賞「FLYING SAUCER 1947」より「PISTOL PACKIN'MAMA」
 HARRY HOSONO&THE WORLD SHYNESS ビクターエンタテインメント(株)(VICL-62534)
 細野 晴臣(Main Engineer) (株)メディアム
 小池 光夫(Mastering Engineer) (株)エイエステイ
 原口 宏(Second Engineer) フリーランス
- 部門C サラウンドパッケージメディア SACD,DVD-Audio,DVD-Video,Blu-rayDisc のマルチ ch
 応募総数 6 作品
- 最優秀賞「TOSHIKI KADOMATSU Performance2006“Player's Prayer”SPECIAL」より
 「恋の落とし穴」角松 敏生 (株)BMG JAPAN (BVXR-11001)(Blu-ray Disc)
 川澄 伸一(Main Engineer) (株)ミキサーズラボ
 田中 龍一(Mastering Engineer) (株)ミキサーズラボ
 松本 浩昭(Recording Operator) (株)ヒビノ
 阿部 勝行(Recording Operator) (株)ミキサーズラボ
 - 優秀賞「camomile Best Audio」より「What a Wonderful World」藤田 恵美
 (株)ポニーキャニオン (PCCA-60019)(SACD)
 阿部 哲也(Main、Mastering Engineer) (株)Strip
 金井 隆(Sound Quality Advisor) SONY(株)
- 部門E 「放送メディア」放送作品部門 応募総数 12 作品
- 最優秀賞「TANTO クラシック！」より 「チャイコフスキー作曲 交響曲第 6 番「悲愴」から」
 指揮：スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ 管弦楽：読売日本交響楽団
 日本テレビ HDTV 2008 年 5 月 14 日放送 5.1ch
 今村 公威 (Main Engineer) (株)日テレ・テクニカル・リソースズ
 大越 克人(Second Engineer) (株)日テレ・テクニカル・リソースズ
 - 優秀賞「題名のない音楽会/音楽に込める命・佐渡 裕」より
 レスピーギ「リュートのための古い舞曲とアリア」第 3 組曲より第 4 楽章「パッサカリア」
 指揮：佐渡 裕 演奏：スーパーキッズ・オーケストラ
 テレビ朝日 HDTV 2008 年 4 月 6 日放送 5.1ch
 高林 正彦(Main Engineer) (株)テレビ朝日
 早川 憲一(Second Engineer) (株)テレビ朝日
 須崎 泰道(Floor Chief Assistant) (株)日放
 内野 陽介(MA Engineer) (株)放送技術社
 - 優秀賞「MONKEY MAJIK スーパーライブ」より「Around The World」 MONKEY MAJIK
 NHK HDTV 2008 年 4 月 7 日放送 5.1ch

志村 宏(Main Engineer) 日本放送協会仙台放送局
高砂 隆介(Assistant Engineer) (株)NHKメディアテクノロジー
三浦 勇樹(Assistant Engineer) 日本放送協会秋田放送局

○ ベストパフォーマンス賞

- 「SINGS!」より「When Sunny Gets Blue」カルロス菅野
ビクターエンタテインメント株式会社 (VICJ-61564)

(2) プロフェッショナルオーディオ協議会との共催イベント

「A&V フェスタ 2009」において「生録体験!! ライブ録音」をプロフェッショナルオーディオ協議会 (PAS) と共催した。

(3) 後援・協賛名義の使用承認

- ・第14回真空管オーディオフェア
- ・第26回オーディオフェスタ・イン・ナゴヤ
- ・CEATEC JAPAN 2008
- ・モバイル・エレクトロニクス・ショー2008
- ・JPCA show 2009/2009 マイクロエレクトロニクスショー

8. 総務事項

(1) 通常総会

日時：平成20年6月11日(水) 10:30~11:30

場所：東京中央区 銀座ブロッサム

出席者数：正会員 237名(委任状出席者を含む)

議事：第1号議案 平成19年度事業報告の承認を求める件

第2号議案 平成19年度収支決算報告並びに監査報告の承認を求める件

第3号議案 平成20年度事業計画の承認を求める件

第4号議案 平成20年度収支予算の承認を求める件

第5号議案 役員改選の承認を求める件

役員改選により鹿井信雄会長が退任し校條亮治会長が就任した。

(2) 理事会

・日時：平成20年5月28日(水) 15:00-16:30

場所：中央区築地 日本オーディオ協会会議室

出席者数：23名(委任状および代理人出席を含む)

・日時：平成20年6月11日(水) 11:30-12:00

場所：東京中央区 銀座ブロッサム

出席者数：26名(委任状および代理人出席を含む)

・日時：平成20年9月3日(水) 15:00-15:15

場所：中央区築地 日本オーディオ協会会議室

出席者数：31名(委任状および代理人出席を含む)

・日時：平成20年12月4日(木) 12:00-12:30

場所：港区 東京虎ノ門パストラル

出席者数：29名(委任状および代理人出席を含む)

・日時：平成21年2月4日(水) 15:00-15:15

場所：中央区築地 日本オーディオ協会会議室

出席者数：30名(委任状および代理人出席を含む)

・日時：平成21年3月25日(水) 15:00-16:00

場所：中央区築地 日本オーディオ協会会議室

出席者数：28名(委任状および代理人出席を含む)

(3) 運営会議

- 第74回 日時：平成20年9月3日(水) 16:30～17:00
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：28名
- 第75回 日時：平成20年12月4日(木) 12:30～14:00
場所：虎ノ門パストラルホテル 出席者数：29名
- 第76回 日時：平成21年2月4日(水) 15:15～17:00
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：30名
- 第77回 日時：平成20年3月26日(水) 16:00～17:00
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：28名
- (4) 事業・財務検討委員会(協会活動および運営の刷新の検討)
平成21年2月19日(木) 平成21年3月9日(月)に開催
- (5) 専門懇話会(協会活動および運営についての意見交換)
平成20年7月28日(月) 平成20年12月18日(木) 平成21年1月29日(木)に開催
- (6) 監事監査
日時：平成20年5月21日(水) 14:00～16:00
場所：日本オーディオ協会会議室
- (7) 登記事項
平成20年8月7日 役員登記
- (8) 平成20年度の会員数(平成21年3月31日現在)
正会員 法人会員 26社(うち団体6団体)・ 個人会員 386名
賛助会員 法人会員 27社・ 個人会員 1,158名
- (9) 平成20年度の役員数(平成21年3月31日現在)
理事 30名(うち会長兼専務理事1名、副会長3名)・ 監事 2名
- (10) 平成20年度の職員数(平成21年3月31日現在)
5名(うち業務委託1名)
- (11) 表彰等
1. 音の匠
「音の匠」中村啓子氏と「音の匠特別賞」山下桜氏を顕彰
 2. 日本プロ音楽録音賞
最優秀4作品と優秀7作品の合計11作品の録音エンジニアとベストパフォーマーを表彰
- (12) 新春の集い
日時：平成21年1月14日(水) 18:00～20:00
場所：銀座 東武ホテル 龍田の間 参加者：119名
- (13) 協会活動と運営の指針
平成21年3月25日の理事会において次年度以降の協会活動と運営の指針を次のように定めた。
- (1) 協会活動の基本ビジョン
豊かなオーディオ及びオーディオビジュアル文化を広め、楽しさと人間性にあふれた社会を創造する。
 - (2) 協会活動の目標
オーディオとオーディオビジュアル関連企業及び有識者の会員が力を合わせ、伝統あるオーディオ文化を守りつつ、オーディオ及びオーディオの役割りも大切なオーディオビジュアルの新しい文化と市場の創造を行う。
 - (3) 協会活動が対象とする顧客
音楽、オーディオ及びオーディオビジュアル文化を愛する人々。
 - (4) 協会会員の役割
会員はビジョンを具現化するパートナーであり、ハード・ソフト・プロ・流通・有識者などの力を合わせ、協会を相互意思疎通の場とし、一企業、一個人では及ばぬことを、役割りを分担して協会の名のもとに行動する。

(5) 法人格の存続

公益法人としての活動を継続することを前提として法人制度改革に対処する。

(6) ビジョン遂行の活動指針

以下の4テーマを活動の柱として、新しい市場を創り、オーディオの活性化をはかる。

1. プロの匠とマニアのこだわり、そしてビギナーの憧れの融合
2. 携帯オーディオとホームオーディオの融合
3. 2ch オーディオとサラウンド・サウンドの融合
4. デジタル技術とアナログ技術の融合

(7) 外部機関との連携

1. 業界活性化と新たな市場創造のために、行政機関との連携を密にする
2. 大学・研究機関との連携を強め、新たな技術の種の発掘と人材育成を行う
3. 販売チャンネル強化と販売従事者育成に寄与すべく、流通との連携を強める
4. 音楽・オーディオビジュアルに関連する他団体と普及相乗効果を高める連携を進める

以上